

記入例

(様式第1号)



農地法第4条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定による許可を申請します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請者（氏名）南魚沼 太郎

南魚沼市農業委員長 様

農業委員会受付

令和 年 月 日

整理番号

認印で可
スタンプ印は不可

記

1 申請者の氏名・住所等

氏名	年齢	住所
南魚沼 太郎	35	南魚沼市六日町180番地1

2 許可を受けようとする土地の所在、地目、面積等

土地の表示		地番	地目		面積 (㎡)	耕作者の氏名	市街化区域、 市街化調整区域、 その他の区域の別
南魚沼市			登記簿	現況			
大字	字						
〇〇〇	□□□	100-1	田	田	200	南魚沼 太郎	その他
〇〇〇	□□□	101-1	畑	畑	100	南魚沼 太郎	その他
以下余白		賃借権等に基づく耕作者がいる場合は、申請前に解約する。(別に手続きが必要)					
計	300 ㎡	(田 200 ㎡ 畑 100 ㎡)					

3 転用目的

農作業所建築

具体的に記入する。
例) 一般住宅、農家住宅、住宅敷地拡張、
車庫、店舗、駐車場、資材置場、
農作業所、農機具格納庫 等

許可番号 南魚農委 第 号

上記のとおり許可します。

令和 年 月 日

南魚沼市農業委員長 ○ ○ ○ ○

1 条件 別紙記載のとおり

2 注意事項 別紙記載のとおり

3 教示事項 別紙記載のとおり

捨印

着工年月日は、許可予定日以降の日付を記入する。「許可日」と記入してもよい。
原則として、許可日から3カ月以内に着手し、1年以内に完了すること。

4 転用計画

① (転用しようとする事由の詳細)

農業経営の規模を拡大したことにより、既存の農作業所が手狭になってきたことから、農作業所を建築することとなり申請するものです。

該当文言を○で囲むこと。

一時転用
永久転用

② 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要

(農地等以外の土地を含む場合は、事業計画面積のすべてについて記載すること。)

工事計画

着工 令和△△年△△月△△日から
完工 令和□□年□□月□□日まで

名 称 棟数 建築面積 所要面積

土地造成

建築物

工作物

計

1

165.62 m²333.33 m²

土 地 利 用
の 面 積

田 200 m²畑 100 m²採 m²他 33.33 m²計 333.33 m²

③ 事業の操業期間又は施設の利用期間

令和 完 年 工 月 日 日
から
永年間

農地以外の一体利用地
がある場合は記入する。

5 資金調達についての計画

資金所要額

総額 40,000,000 円

整地費 2,000,000 円

建設費 37,000,000 円

その他 1,000,000 円

自己資金 5,000,000 円

借入金 35,000,000 円

借入先 ○○銀行△△支店

6 付近の土地、作物、家畜及び生活環境等への被害防除施設の概要

雨水は、隣接地との境界に擁壁を設置し、
傾斜をつけて北側の排水路に流します。
雑排水は、公共下水道に接続します。

主に雨水・雑排水の処理方法を記入する。
その他、周辺への影響が想定される場合は、
具体的な防除方法を記入する。

7 その他参考事項

申請地は、令和○○年○○月○○日に農振法の用途変更の手続が完了しています。

添付書類

(添付した書類に○印を付す)

- (1) 法人にあっては、定款若しくは寄付行為の写し又は法人の登記事項証明書
(2) 申請土地の登記簿謄本
(3) 申請土地に係る地番を表示する図面
(4) 申請土地の位置及び付近の状況を表示する図面(縮尺は1/50,000 ないし1/10,000 程度)
(5) 申請土地に建設しようとする建物又は施設の図面、位置及び施設物間の距離を表示する図面(縮尺は1/500 ないし1/2,000 程度)
(6) 申請土地が土地改良区の地域内にある場合には、当該土地改良区の意見書
(7) 資金調達についての証明書類

(8) 所は申しい

(9)

(10)

(11)

農地転用にあたり他法令等の手続きが必要な場合は、申請・協議等の状況を記入する。

例) 農振農用地の除外・用途変更
都市計画法上の開発許可
砂防指定地内における行為許可
法定外公共物の払下げ 等

当該事業に関連して法令の定めるところにより許可、認可、届出等を要する場合においてこれを了しているときは、その旨を証する書面

当該事業に関連する取水又は排水につき関係権利者の同意を得ている場合には、その旨を証する書面

その他参考となるべき書類